

ハンフリー フィールドアナライザー HFA II



We make it visible.

機能と特徴

■ 非球面型ドーム、コンパクトサイズ。
ゴールドマン視野計と同一の検査距離
で耳側最大86度まで測定可能。

■ アイコンとグラフィック表示によるタッチ
パネル方式でイージーアクセス、簡単操作。
マウス、キーボード接続可能。



■ 高齢者でも楽に押せる人間工学を採り入れた
デザインの患者応答ボタン。

■ データ保存のための大容量ハードディスク
3.5" フロッピードライブ
MOドライブ (モデル750のみ搭載)

■ 検査中無理のない姿勢を保持できるよう
本体を患者側に引き寄せるスライダー/
スライダーハンドル

■ 内蔵型サーマルプリンタ

■ 左右眼別電動チンレストで、検査眼の
アライメントが容易。

ハンフリーフィールドアナライザー HFA II

ハンフリーフィールドアナライザーは、使い易さと再現性、洗練されたソフトウェアから、これまで常に自動視野計の水準をリードし、スタンダードとして確立されてきました。

600シリーズの後継機種であるHFA II 700シリーズは、

600シリーズをご使用の先生方のご要望と15年以上ものリサーチ、開発が反映され、より洗練された設計とソフトウェアで登場しました。

診断補助プログラム Statpac

HFA専用の統計解析パッケージソフトウェアSTATPACは、緑内障を含む網膜疾患の診断補助及び経過観察用プログラムとして高い評価を得、自動視野計の共通言語として確立されてきました。正常視野データベースとの比較を各検査点毎に行い、有意性を示唆し解読し易いフォーマットで提供します。また、緑内障やブルー・イエロー、SITAの各データベース等、各検査プログラムに対応した正常視野のデータベースが構築されており、使用した検査方法に対応するSTATPACで自動的に解析され出力されます。

より早く、より高い精度を訴求したSITAプログラム

SITA (Swedish Interactive Threshold Algorithm) は、従来の全点閾値やファーストバックと同等もしくはそれ以上の情報量を保持しながらも検査時間の大幅短縮化を可能にした測定方法です。患者の負担が軽減され、より精度の高い検査結果が得られます。SITAによる検査結果は自動的にSITA用のデータベースで構築されたStatpacと比較・解析され、プリントされます。SITA-StandardとSITA-Fastの2通りより選択できます。

SITA-Standard : 全点閾値の測定方法を基本としながらも検査時間はほぼ半減されます。

SITA-Fast : ファーストバックの測定方法を基本としながらも検査時間はほぼ半減されます。

緑内障性視野欠損の進行の有無をGPAソフトウェアにより判別します。

GPA (Glaucoma Progression Analysis) は、10年以上もの研究 (EMGT*) により基準化された視野評価を用い、緑内障による視野欠損がばらつきの範囲内か、真の視野進行か否かを各検査点毎に解析し、進行が見られる場合はシンブルなメッセージで警告を促します。

(注：モデル720には装備されておりません。また、一部有償となります。)

ブルー・イエロー (SWAP) / SITA-SWAP

特定の高輝度の黄色の背景色に短波長の青色視標を呈示して行う視野検査方法です。長年にわたる研究から、早期緑内障性視野欠損、視神経疾患が従来の白色光で行うよりも数年早く検出可能と報告されています。SITA-SWAPは従来のブルー・イエローにSITAの効率的な技法を組み入れた検査方法です。従来のSWAPの約3分の1の時間、3～6分で検査が終了します。

モデル745・750に標準装備されています。

(注1：SITA-SWAPは中心24-2閾値プログラムでのみ適用可能です。)

(注2：一部有償となります。)



検査結果プリントアウト例

Statpac

広範な研究から求められた年齢毎の健常視野データベースを基本とし、検査点毎及び総合的に比較・解析し、シンプルで客観的なフォーマットで表示します。

以下の解析条件を使用した検査結果では、プリントアウトは各測定方法に対応したStatpacによる解析が自動的に適用され、出力されます。

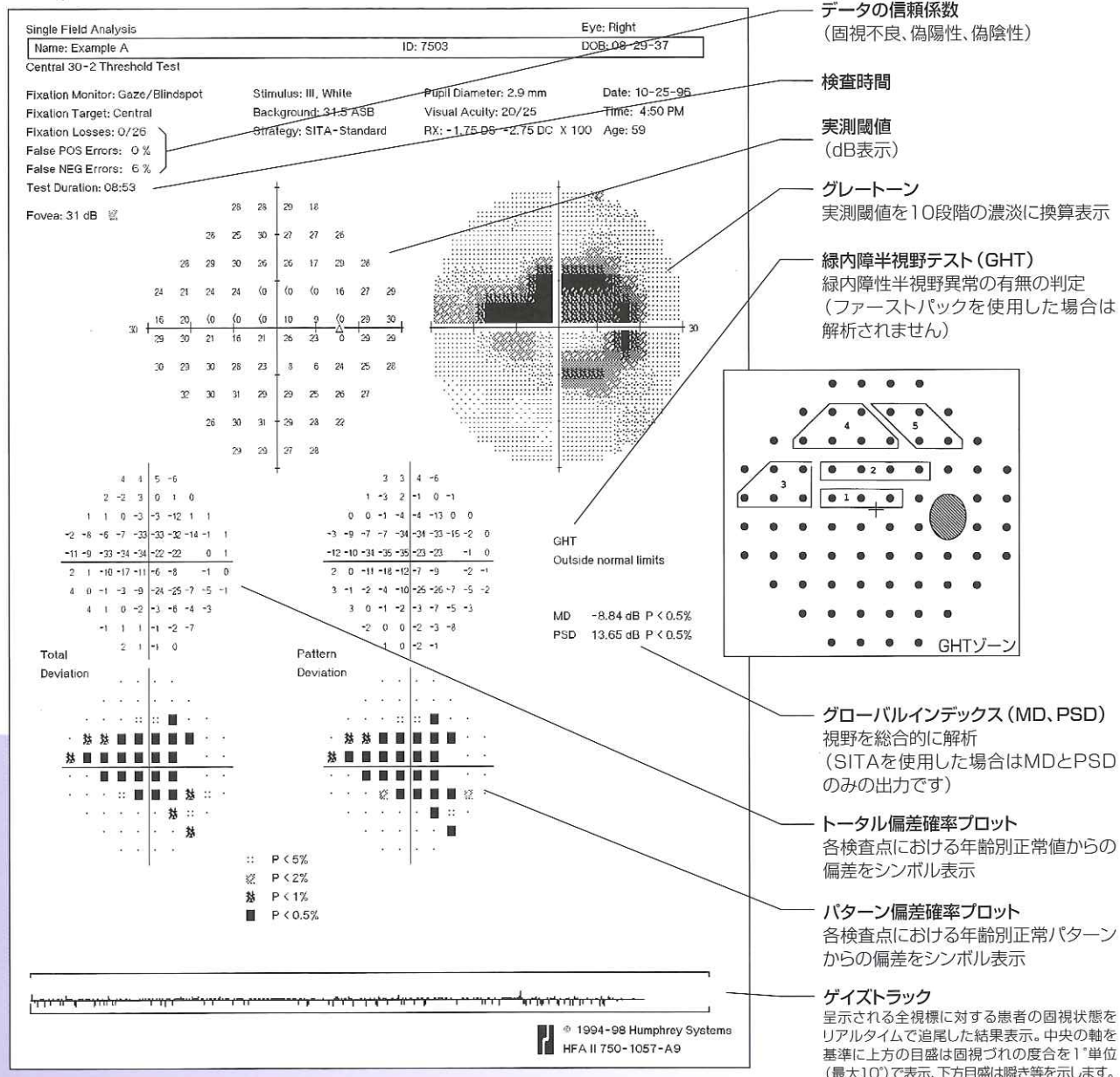
解析条件 視 標 サイズ: III

視 標 色: 白色

検査プログラム: 中心 30-2、24-2、10-2

測 定 方 法: SITA、全点閾値、ファーストバック (解析が制限されます)

Statpacプリントアウト例



GPA(緑内障視野進行解析)プリントアウト例

Glaucoma Progression Analysis

緑内障性視野欠損の経過観察において、ばらつきが真の進行か否かを検査点毎および総合的に解析し、一連の検査結果で進行が疑われる場合は警告のメッセージを発します。

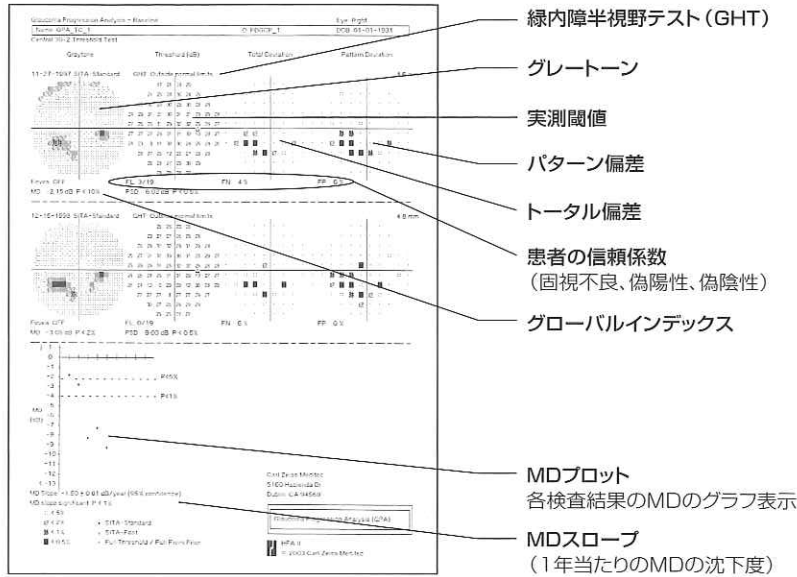
解析条件 視 標 サイズ: III

視 標 色: 白色

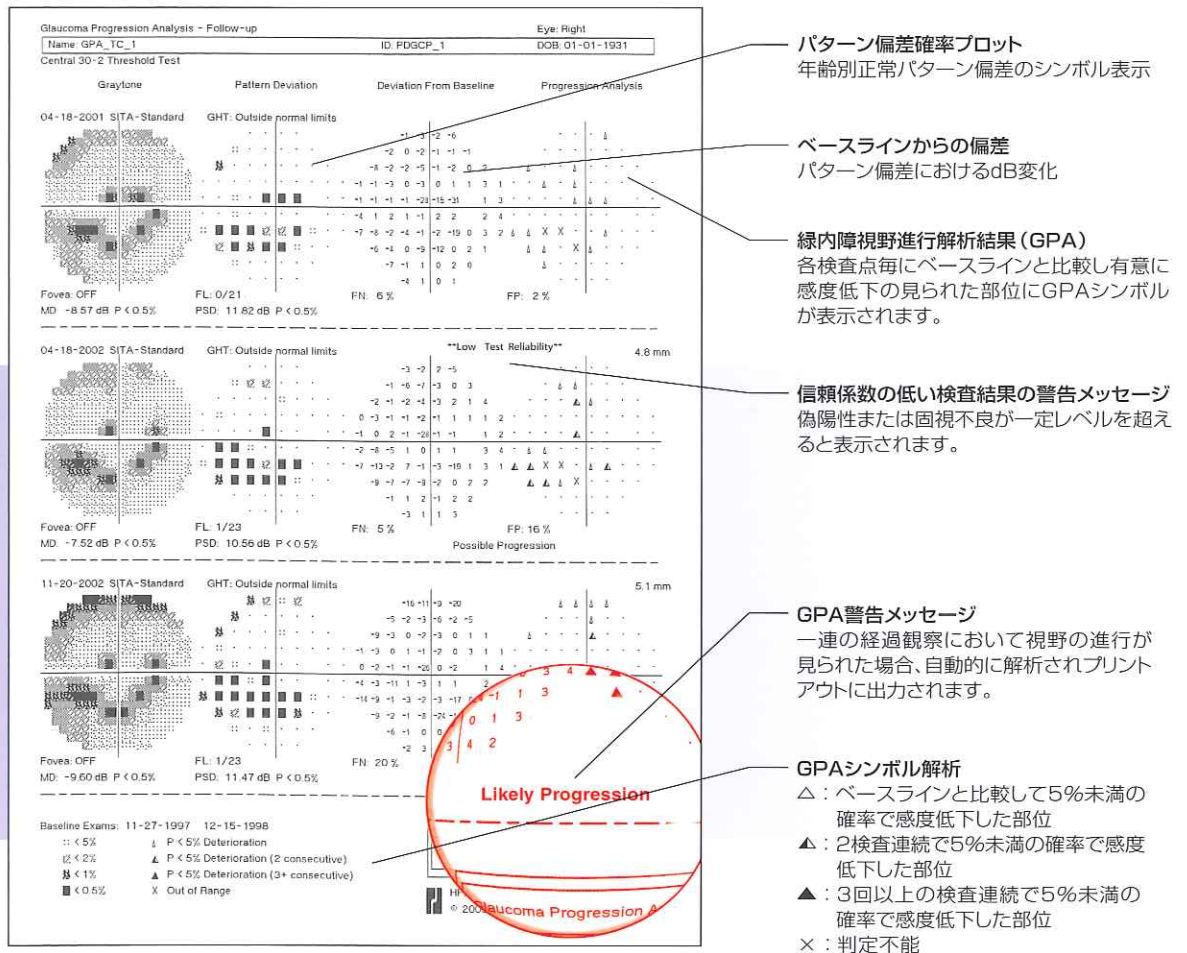
検査プログラム: 中心30-2、24-2

測 定 方 法: SITA-Fast、SITA-Standard、全点閾値 (ベースラインのみ)

ベースライン

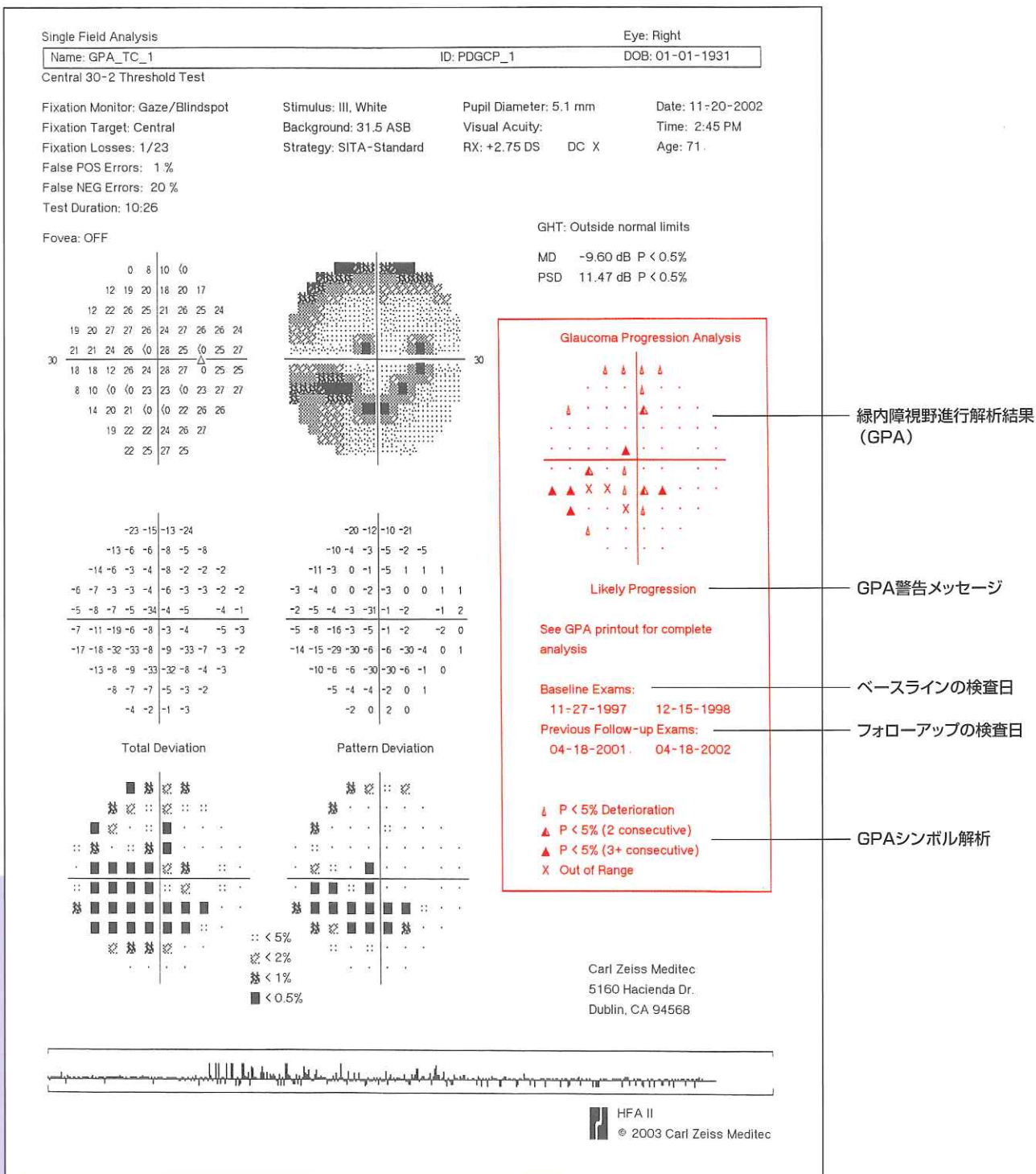


フォローアップ



GPA単一視野解析プリントアウト例

いったん設定した患者のGPAでは、その都度ベースラインとフォローアップを出力する必要はありません。
GPAを含む単一視野解析のみ出力できます。



機種別 機能・性能 比較

機能	720	740	745	750
閾値テスト				
中心： 30-2、24-2、10-2、黄斑部	○	○	○	○
周辺： 60-4、鼻側階段	○	○	○	○
測定方法： 全点閾値	○	○	○	○
FastPac™	○	○	○	○
SITA™	○	○	○	○
スクリーニングテスト				
中心： 40点、64点、76点、80点、アーマリー	○*	○	○	○
周辺： 60点、鼻側階段	○	○	○	○
全視野： 81点、120点、135点、246点、アーマリー	○*	○	○	○
測定方法： 年齢別・閾値関連モード				
2段階測定／3段階測定／欠損の定量	○	○	○	○
単一輝度モード				
2段階測定	○	○	○	○
スペシャルテスト				
エスターマン片眼、両眼	○	○	○	○
上方36点、上方64点	○	○	○	○
カスタムテスト	X	○	○	○
キネティックテスト	X	オプション	オプション	○
色視野テスト				
白の背景に赤または青の視標	X	○	○	○
ブルー・イエロー (SWAP)	X	X	○	○
SITA-SWAP	X	X	○	○
視標サイズ (ゴールドマン)	III	I~V	I~V	I~V
中心窩閾値	X	○	○	○
固視監視				
アイモニタ	○	○	○	○
Heijl-Krakau法	○	○	○	○
ゲイズトラック	X	○	○	○
ヘッドトラック／頂点間距離モニタ	X	X	X	○
操作				
CRTタッチスクリーン	○	○	○	○
電動チンレスト	○	○	○	○
ヘルプメニュー	○	○	○	○
プリンタ				
サーマルプリンタ	○	○	○	○
瞳孔径自動測定	X	X	X	○
STATPAC 2™ (統計解析ソフト)	○*	○	○	○
STATPAC™ for SITA	○*	○	○	○
STATPAC™ for Blue-Yellow, SWAP	X	X	○	○
GPA (緑内障視野進行ソフト)	X	○	○	○
データ保存				
3.5 インチシングルフロッピー	○	○	○	○
ハードディスク	○	○	○	○
MO ディスク (バックアップ用)	X	X	X	○
*：内容が制限されます。				

本体仕様 (全機種共通)

視標最大輝度	10000ASB	定格電圧	100V±10%、50-60Hz
視標表示時間	0.2 秒	消費電力	400VA (最大)
背景輝度	31.5ASB (自動調光)	本体重量	39.9kg
ドーム形状	非球面型	本体サイズ	580(W)x518(D)x575(H)mm
最大測定範囲	86 度 (耳側)	テーブルサイズ	973(W)x696(D)mm